

刊本の材質等について

港区史の基本方針である、区民の皆さんのが手に取って読みやすい、身近に感じられる区史にするため、刊本の材質について、次のとおりとします。

1 ジャケット（書籍の表紙を包む紙）（全編共通）

質・加工：pp 貼り（マット）

用 紙：コート紙

選定理由：光沢が抑えられ、高級感と落ち着いた雰囲気があるため

2 本紙

巻	用紙・紙色	紙の厚さ	選定理由
通史編 (A5 モノクロ)	ニューシフォン クリーム（クリ ーム）	斤量 38kg	<p>【用紙・紙色】</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽く、柔らかく、紙質にほどよい厚みがあるため 紙の色が退色しにくく、保存性に優れているため <p>【紙の厚さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 白系に比べて発光性が低く、目にやさしく疲れにくいため
	※口絵について はマットコート 紙（白）	※口絵は斤 量 44.5kg	
自然編 (A4 カラー)	マットコート紙 (白)	斤量 70.5kg	<p>【用紙・紙色】</p> <ul style="list-style-type: none"> カラー図版が映え、美しく印刷することができるため マットコートすることで光沢が抑えられ、目にやさしく疲れにくいため <p>【紙の厚さ】</p>
		斤量 57.5kg	<p>自然編は頁数が少なく（約 120 頁）、自立させるため、少し厚めを採用。図説版は街歩き等、持ち運びのしやすさを優先し、本の重量を抑えるため、自然編より薄めを採用。（頁数：約 300 頁）</p>

※斤量（厚み）…紙の厚さを表す単位。印刷に用いる元となる紙（原紙）を 1,000 枚重ねたときの重さ。重いほど厚い。

3 その他

(1) 表紙、見返しの材質等について

東見本は下記を採用しており、刊本についても全巻共通で同じものを採用予定です。

表 紙：マットカード紙 斤量 225kg

見返し：色上質紙 厚口

(2) 資料編について

令和5年3月刊行の資料編（A4 モノクロ）については、内容、構成等を検討中のため、本紙の材質については、別途検討します。

